平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　伊那小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	言われて嫌な言葉、うれしい言葉を出し合い、友だちに対する言葉のかけ方を考えた。	なし	授業後クラスの友だちに「～でありがとう」と伝えに行く場面があった。伝え合う場面をもっと多く設定していきたい。
	2	⑭人権一般	日常の学校生活でよくある場面を想定し、どんな解決方法があるのか考えた。	自作資料「セカンドステップ」	相手を悲しませようとする意図がなくても相手の気持ちになって話し合うことで、うっかりでもあやまることが大切であることを学んだ。
	3	⑭人権一般	体の不自由な人に対する支援のあり方などについて絵本の主人公の生き方から考えた。	絵本「おたまじゃくしの運動会」	主人公の思いを読み取り考えることで、平等とはどういうことなのか、共生とはどのようなことなのか３年生なりに考え合えた。
	4	⑭人権一般	「友だちが知っていて私が知らない自分」をテーマに、肯定言葉をお互いにプレゼントし合った。	自作資料「一番星みつけた」	「自分を好きになった」「友だちに見てもらえてうれしかった」という意見が多く、子どもの自己肯定感の向上につながった。
	5	⑭人権一般	自分と他者との同じところ、違うところについて考え、違いの大切さやお互いのよさを認め合った。	自作資料	自分と他者との違いをそれぞれのよさとしてとらえることができた。他者の考えや立場を尊重して話し合うことができた。
	6	⑤同和問題 ⑭人権一般	結婚を反対された主人公、反対した主人公の両親、親戚の立場に立って考えた。勇気を持って行動した姿から自分を見つめ直した。	自作資料「公民館での披露宴」	いけないと思ったことを勇気を出して声に出すことは日常生活の中でも多くあり、それが差別をなくす第一歩であるということを考えることができた。

児童	研修講演	テーマ	共に生きる～夢に向かって私の挑戦～		視力を失っていく経過でいじめられた経験、その時に支えてくれた人の存在、自ら夢を持って努力する前向きな生き方など自身の経験に基づいた話を聴くことができた。ピアノの弾き語りも子どもたちには印象に残った。
		講師名(報償額)	宇都宮市立築瀬小学校 南澤創教諭	（県事業で派遣）0円	
		連絡方法	〒321-0912宇都宮市石井町2989-61	TEL0286-21-1646	
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　4・5・6	回数　2　回	
		他	実施学年	回数　回	
	児童会の取組		縦割り清掃を実施し学年学級の枠を超えた交流を行った。・交流委員会が中心となってなかよし学級同士で休み時間に鬼ごっこや大縄などを行い、なかよし週間・月間中には児童集会でなかよしゲームを行った。		

保護者	研修講演	テーマ	共に生きる～夢に向かって私の挑戦～		小学校の頃のいじめられた体験談は、いじめに合う人の気持ちを考えさせられたと思う。点字を学び自分の力で大学にも合格しいろいろなことをあきらめずにいた生き方は、目標を持てる気持ちにもなれたと思う。（保護者の感想より）
		講師名(報償額)	宇都宮市立築瀬小学校 南澤創教諭	（県事業で派遣）0円	
		連絡方法	〒321-0912宇都宮市石井町2989-61	TEL0286-21-1646	
	家庭への発信・連携		なかよし月間中の授業参観では、全学級が人権同和教育に関する授業と学級懇談会を実施した。		

職員	研修講演	テーマ	人間関係づくり・学級づくり		講師の先生自作の資料を用いて「協力」をテーマに研修を行った。グループワークトレーニングを通して自己を開放したり、人間関係が深まったりすることを職員が感じることで、学級づくりに生かしていくことができた。
		講師名(報償額)	長寿開発センター 竹中雅之先生	10,000円	
		連絡方法	〒386-8666伊那市荒井3497長寿開発センター	TEL0265-78-2111	
	校内組織の取組		人権同和教育の授業実践		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○幼保小連絡会　○小中連絡会　○小中交流授業　○学校開放　○授業参観（年6回）地区懇談会 ○民生委員との懇談　○みまよせの子らを育てる会

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	他校の取り組みを知ることができてよかった。授業公開は子どもたちの姿から学ぶことができありがたかった。
	次年度に向けての要望
	講演会講師の先生の紹介がありがたいので続けていただきたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　伊那東小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	「ふわふわことば」と「ちくちくことば」について考えさせ、人を悲しませる言葉を言わないようにしようという気持ちを持たせる。	あけぼの低学年	言葉の使い方で、人をうれしくさせたり悲しませたりすることに気づくことができた。参観日に行ったので、家の人も考えてくれるよい機会となった。
	2	⑭人権一般	友だち一人一人の良いところを花びらに書き、友だちに渡して、一つの大きな花を作った。	あけぼの低学年	自分のことを書かれたカードを真剣に読んでいた。自尊感情を高める１つの機会となった。
	3	②子ども（いじめ）	ある教室の中で「不幸せな人」「不幸せになりそうな人」を考えた	「いじめ」なんてしたくない	友だちにいじわるをされた時の気持ちをみんなで考え合えた。
	4	⑭人権一般	資料「あなたが持つ生きる力」を読むことを通して、自分が「生きる力」をもって生まれてきたことを知り、かけがえのない存在であることを感じ、自尊感情を育てる。	4年生の道徳	自分や友だちがかけがえの無い素晴らしい存在であることを知り、自分や周りの人を大切にしたいという心情を持つことができた。
	5	⑭人権一般 ④障害者	①自分の思いを正しく伝えるために ②障害のある人とでも、工夫をすれば一緒に遊べること	①わたしたちの道徳 ②わたしたちの道	①メールの問題を扱ったが、メール以外にも言葉づかいのことも考え合えた。 ②身近な問題として考え合えた。
	6	⑤同和問題 ⑭人権一般	①近な人権に関する問題 ②同和問題	①日常生活から ②社会教科書 ③あけぼの	身近な問題については、日々くり返し話し合いや指導を行うことを大切にしてきた。

児童	研修講演	テーマ	「小学校時代のいじめ」「いじめられた側の気持ち」「両親の支えといじめに負けない生き方」		いじめられたり、担任から受けた体罰を受けたりした実体験を話して頂いた。両親や周囲の大人の支えで自殺を踏みとどまれたが、いじめられた心の傷は一生残るので、いじめは決してしてはいけないことを実感した。
		講師名(報償額)	人権教育派遣事業講師　山城峻一さん	目安 100,000円	
		連絡方法	県教委事務局心の支援課人権支援係　℡026-235-7450		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　４，５，６	回数　２　回	学校生活アンケートを指導に生かし、深刻ないじめを未然にふせぐことができた。
		学校生活アンケート	実施学年　全学年	回数　２　回	
	児童会の取組		あいさつ運動・なかよし学級でなかよし給食・なかよし集会・児童会夏祭り		

保護者	研修講演	テーマ	演劇教育とコミュニケーション		コミュニケーション能力を高める４つのポイント「あいさつ・アイコンタクト・スキンシップ・共感」についてわかりやすく講演していただいた。相手意識や他者理解の大切さを学ぶことができた。
		講師名(報償額)	劇団「サムライナッツ」松﨑剛也さん	60,000円	
		連絡方法	〒399-4112駒ヶ根市中央4-2　℡0265-83-3296		
	家庭への発信・連携		学校便り・学年便り・学級懇談会・なかよし月間での授業参観		

職員	研修講演	テーマ	ＱＵの分析と活用について		昨年度に引き続き、QUアンケートの結果をどのように児童理解や学級経営に生かしていったらよいのか、児童や保護者に対してどのような働きかけをしていったらよいのか、事例に基づいて具体的に指導して頂いた。
		講師名(報償額)	西箕輪小学校教諭　原一宏先生	0円	
		連絡方法	〒399-4501伊那市西箕輪大萱3900-138　℡0265-72-2639		
	校内組織の取組		仲良し月間での授業参観・学級懇談会		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	保育園・デイサービス施設・地域のお年寄りとの交流 5月・8月（児童会夏祭り含む）・1月に学校開放日を設ける

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	各学校に取り組みや扱った資料、授業公開を参考にして、自校の取り組みを見直すことができた。
	次年度に向けての要望
	研修の講師一覧から、講師の方をお願いでき、とてもありがたかったので、来年度も出していただきたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

⑩拉致被害者等　⑪その他（性的指向・性自認等）　⑫人権一般（生命尊重、自尊感情、人権ゲーム、能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　伊那北小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権問題 ②子ども ④障害者	①外国籍や特別支援の友だち ②体の不自由な友だちの理解 ③ふわふわ言葉とちくちく言葉	①あけぼの ②わたしたちのみち	体の不自由な子を、同じクラスの一員として、一緒に気持ちよく過ごしている。
	2	⑭人権問題 ②子ども ③高齢者	①１年生との交流 ②自分の名前について知る(すずたけ訪問でおじいちゃんおばあちゃんとの交流)	わたしたちのみち	自分の名前を学習し、両親の思いや生まれたときの様子を知り、特別な自分を感じられた。
	3	⑭人権問題 ②子ども ⑦外国人	①老人保護施設「すずたけ」の訪問と交流 ②外国の文化の紹介と、それぞれ違い	①あけぼの ②わたしたちのみち	①それぞれの国の良さを共感しあった。 ②高齢者への優しい気持ちがもてた。
	4	⑭人権問題 ②子ども ④障害者	①点字体験 ②うれしい言葉と傷つく言葉 ③なかよし学級との交流	①あけぼの ②わたしたちのみち	実際に点字の打ち方や読み方をやってみることにより伝えることの大切さと難しさを学んだ。
	5	⑭人権問題 ②子ども ③高齢者	①自分を尊重する思いを向上させる。 ②学ぶという権利ついて学習 ③子どもの権利条約	①あけぼの ②わたしたちのみち	実際の自分たちの権利から考えることが重要だと思ったが資料がなかなか見つからなかった。
	6	⑭人権問題 ②子ども ⑤同和問題	①部落差別 ②識字学級で学んでいるおばあさんの思いに寄り添って差別の不当性について考えた	①あけぼの ②わたしたちのみち	実際におばあさんが書いたメモや作品を見ながらおばあさんの努力を感じることができた。

児童	研修講演	テーマ	ネットトラブルから身を守る ＮＴＴドコモスマホ・ケータイ安全教室		参観日の日に、ＰＴＡ講演会をしている時間に保護者と同じ内容でネットの安全教室を実施した。家に帰ってから親と共通の話題で話し合うことができて良かった。
		講師名(報償額)	ＮＴＴドコモ　村上智仁氏	0円	
		連絡方法	〒380-0813長野市鶴賀緑町1403-3　℡0120-707-360		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　４・５・６年	回数　２　回	
		他	実施学年	回数　　回	
	児童会の取組		仲良し集会、なかよし給食、あいさつ運動、仲良し学級交流		

保護者	研修講演	テーマ	ネット社会との上手なつきあい方 ＫＤＤＩケータイ教室		参観日の日に、児童向けに講演会をしている時間に児童と同じ内容でネットの安全教室を実施した。家に帰ってから親と共通の話題で話し合うことができて良かった。
		講師名(報償額)	ＫＤＤＩ　岩田幸雄氏	0円	
		連絡方法	〒102-8460 東京都千代田区飯田橋3-10-10 ℡0120-926-772		
	家庭への発信・連携		学校だより「いきいきサロン通信」学年・学級通信		

職員	研修講演	テーマ	漢字の読み書きを中心に、特に苦手な児童に対する指導法		各学級の担任が今までの漢字学習の学びにくさを理解し、新しい学習法を実施してみた。苦手な子の底上げが見られた。
		講師名(報償額)	元横浜市立盲特別支援学校 道村静江先生	市負担	
		連絡方法	〒221-0005横浜市神奈川区松見町2-388-29 点字学習を支援する会 ℡045-431-7685		
	校内組織の取組				

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○老人健康施設「すずたけ」　○校内にいきいきサロン教室（ボランティアルーム）を設置し、学校応援団の発足ができた。　○保育園、来入児との交流　○伊那養護学校の副学籍児童との交流や運動会への招待を実施した。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	講演会の講師を紹介してもらえることがありがたいです。
	次年度に向けての要望
	これからも他の学校の様子を知りたいと思います。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　伊那市立伊那西小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ④障害者 ⑭人権一般	①誰とでも仲良くあそぼう ②保育園児との交流 ③障がい者、個々の体の違い（障害を受け入れて何かに一生懸命取り組む生き方や気持ちを主人公の気持ちに寄り添い考え合った	①あけぼの ②図書本 ③心のノート ④わたしたちの道	１年生に合わせて「仲間はずれ」「悪口」などと具体例を出したが、更に広げて人権意識を高めていきたい。
	2	②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	①自分の名前と友だちの名前 ②みんな友だち ③人権カルタ ④ことばの使い方	①あけぼの ②図書本 ③心のノート ④わたしたちの道	身近な社会の中にいる、いろいろな人に対して関心を持ち、共に生きる仲間として知り合えたり、関わり合い、支えたりすることを学んだ、
	3	②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	①「恕」自分がされていやなことは人にもしない ②「いじめ」について・「人権の花」の取り組み ③高齢者施設との交流など	①わたしたちの道 ②あけぼの ③人権教育指導事例集 ④心のノート	「いじめ」は身の回りにいつでも起こりうる可能性があることや、いじめを許さないクラスにすることを考え合あった。・「人権の花」に協力し合って取り組んだ。
	4	②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑭人権一般	①障害のある方への理解と関わり方 ②約束をまもること、思いやること ③自分、友だちの良さを認め合う	①わたしたちの道 ②あけぼの ③国語 ④道徳 ⑤心のノート	一人ひとりの考え方や違いがあり、良さを認め合うことで、分かり合って生活できること　・障害のある方を理解し、共に生活していくことの大切さを学べた
	5	②子ども ③高齢者 ⑭人権一般 ⑥アイヌ ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	①人のために出来ることは何だろう ②自分らしさを発揮してもっと輝くために	①あけぼの ②心のノート ③わたしたちの道	いくつかの事例から、自分は人のために何ができるかを考え話し合った。・日々の生活の中から人のために頑張れたことを探せるようになってきた。
	6	②子ども ④障害者 ⑤同和問題 ⑥アイヌ ⑦外国人 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	①江戸時代の差別について ②差別に負けない心と社会 ③アイヌの人の歴史	①わたしたちの道 ②あけぼの	身分上、厳しく差別されてきた人々が自分の仕事に誇りを持って、たくましく生きる姿や、人として当たり前の権利を求めて行動する姿から、人権の大切さを学ぶことができた。・アイヌの歴史・日本聴導犬協会訪問

児童	研修講演	テーマ	聴覚障害を持った人のために働く聴導犬の理解とその仕事の大切さ		聴覚障害を持った人にどう接したらよいのか、介助犬や聴導犬の実演を伴いながら子どもたちに分かりやすく教えていただいた。 ・実演を伴った話であったこともあり、子どもたちには大変分かりやすい講演で
		講師名(報償額)	日本聴導犬協会（社会福祉法人）	50.000円	
		連絡方法	〒399ー4301 宮田村7030－1	TEL0265-85-4615	
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　全学年	回数　2　回	
			他　実施学年	回数　回	
	児童会の取組		「輪っこハウス」訪問　歌と折り紙のクリスマスプレゼント　なかよし集会　など		
保護者	研修講演	テーマ	インターネットに潜む危険		○親向けにメディアの危険性やフィルタリングの必要性について ○ディア被害から子どもたちを守る意識付けがされた。
		講師名(報償額)	NTT東日本長野支社　小林功様	0円	
		連絡方法	〒380－8519 長野市新田町1137－5	TEL026-225-4404	
	家庭への発信・連携		参観日に、現在の子どもたちの状況（アンケート等から）や対応についてお話した。		
職員	研修講演	テーマ	児童理解を深め、いじめのない学級経営の取り組み方		○通常学級に在籍する支援の必要な児童の特性と支援の仕方について、具体例を挙げながら教えていただいた。 ○児童の困り感や対応の仕方が分かり、日頃の学習や生活に生かせると好評であった。
		講師名(報償額)	三澤美智代先生　（伊那北小）	0円	
		連絡方法	〒396-0005伊那市野底8380-3	TEL0265-72-2264	
	校内組織の取組				

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○保小連絡会　○小中連絡会　○地区児童会　○地区懇談会　○民生委員懇談会 ○教育環境協議会　○伊那中、西箕輪中ブロック特別支援学級交流会 ○ＰＴＡ会報や公民館報による情報発信

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	○各学校の取組内容や研修講演の講師などを知ることができ参考になった。 ○業を参観させていただき、児童生徒の心情をどう揺さぶるかなどを学ばせていただいた。
	次年度に向けての要望
	○本年度の方向でよい。 ○人権教育において「地域素材」生かし方」をどのように進めていけばよいのか、戸惑っている。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々

⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　富県小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	①友だちとの交流を通して良さを見つけ、認め合う。　②様々な活動を通して、自分の良さを見つけることが出来る。	協力すれば何かが変わる（グループワークトレーニング）	グループの友だちと協力してぬり絵を完成させるのに、友だちのいうことを良く聞いたり自分の役割を果たしたりすることの大切さに気付くことができた。普段の生活にいかせるとよい。
	2	⑭人権一般	①友だちの良さを見つけ伝え合い認め合う。　②自分の良さを確認し、友だちも自分も大切にできる。	①エンカウンター ②わたしたちのみち	低学年のためか、男女分け隔てなく交流できる。保健の学習で、養護教諭の協力を得て進めると効果的であることがわかった。
	3	⑭人権一般	①友だちの良さを発見。　②クラスみんなで取り組むことの気持ちよさ。　③自分から進んであいさつ。	①みんなで協力 ②グループワーク・トレーニング	グループやクラスで協力して活動を進めていく時、一人ひとりのよさをそれぞれの役割でいかしながら取り組むことが大切だと気づくことができた。
	4	④障害者 ⑭人権一般	友だちとの接し方を振り返り、友だちと気持ちよく接する仕方を考え、自分も友だちと気持ちよく接しようとする。	①エンカウンター・友だちとの接し方	具体的に友だちとの接し方（態度や言葉）を振り返り、演習を通して実感できた。具体的に出来たことが良かった。
	5	⑭人権一般	自分に出来ることを考え、自尊感情を高める。	自作資料	自分の損得を考えての行動ではなく、みんなの為に自分がどうするかを考えた行動は、自分の価値を高め、集団も変えられることに気づけた。
	6	⑤同和問題 ⑭人権一般	①部落差別の歴史を学ぶ。 ②全ての人を認めることの大切さを理解する。	①社会科の資料 ②わたしたちの道	歴史の学習を進める中で不当な差別を受けてきた方々の実状を知り、人は平等で、誰もが尊重されるべきことを学んだ。しっかりと受け止めていた。

児童	研修講演	テーマ	親子で学ぶセイフネット講座		参観日に保護者と子ども達対象に講演していただいた。インターネット・メール・ゲーム機での通信にまつわるトラブルや危険性を教えていただけてとてもよかった。親子ともに学べたのが良かった。
		講師名(報償額)	セーフティネット総合研究所南澤信之さん	0円	
		連絡方法	〒380-0952長野市宮沖１３４ 県子ども・若者支援推進本部事務局　℡026-223-5059		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　１～６年	回数　各２回	クラスの中での、それぞれの子ども達の実状を知る上でとても参考になった。
		他	実施学年	回数　回	
	児童会の取組		宅幼老所　きらきら福地訪問（みどり委員会）初めての訪問にとまどうこともあったが、利用者の皆さんに喜んで頂き、子ども達も充実した時間をすごすことができた。		

保護者	研修講演	テーマ	親子で学ぼうかい		親子が心で向き合い、絆を深め、子ども達が健やかに成長するように願い、開催した。ＰＴＡの保護者の中で医療・建築・美容の三つの職業に就いている人達でチームを組んで、普段の仕事の様子や大変なこと、やりがいなどを子ども達に伝えるために実際にパフォーマンスを交えて講演して頂いた。子ども達は様々な職業を知ることやお家の人の働く姿を見て職業の違いはあっても一生懸命やることの大切さを感じていた。
		講師名(報償額)	富県小学校ＰＴＡ	0円	
		連絡方法	〒396-0621伊那市富県北福地7312　℡0265-72-3094		
	家庭への発信・連携		ＰＴＡ主催で行った講演会で、保護者の皆さん独自の発想で行われたもので、子ども達も保護者も一緒に参加したひとときで、親子の絆が深まった。		

職員	研修講演	テーマ	教師として		①今を生きる子どもの大変さ　②子どもをみる　③子どもと正面から向き合う　④授業改善　⑤教員の資質向上　⑥教育を取り巻く環境についてのお話しをしていただいた。教師として大切な人権感覚を身につけ、子どもと正面から向き合って行こうという気持ちになった。
		講師名(報償額)	富県公民館長 北原和俊先生	0円	
		連絡方法	〒396-0621伊那市富県貝沼6393-1　℡026--72-2318		
	校内組織の取組		実践事例集作成、校内委員会・職員会・ケア会議等で児童の実態や支援計画を検討した。		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	たかずやの里のみなさんとの交流会 一昨年度まで富県小学校で一緒に学習をしていた３～６年生の友だち、東春近小学区へ移転後も新しくたかずやの里で生活している１，２年生の友だちと一緒に交流会を行った。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	反省
	他校の実践の様子をお伺いしたり実際に参観させて頂いたりし、参考になった。また、人権感覚を身につけるためには特設の授業だけではなく、日常の生活で行ったり話したりすることが重要で、子ども達に接する時の大人の対応も講演などから気付かされたこともあった。
	次年度に向けての要望
	実践事例集や、他校の実践の様子が分かる資料がとてもありがたいので今年度と同様にお願いしたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　新山小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	友達の良いところ、自分の良いところを見つめ直し、友達を大切にする心情を育てた。	①いいところ ②わたしたちの道	お互いの良さを発表させることで、認められているという心情を高め、友達を大切にする心情を育てた。
	2	⑭人権一般	人も動物も大切にしあうには、争いのない毎日をおくることが大切である。友だちによりそう心情を学んだ。	①かわいそうなゾウ ②わたしたちの道	命を大切にするということは、日々の心がけや相手への声がけといったあたり前のことから始まることを学んだ。
	3	⑭人権一般	友達の良いところを認め合い、相手のことを思いやる大切さを学んだ。	日常生活の振り返り	お互い認め合うことで、相手を責めるような発言が少なくなった。
	4	⑭人権一般	自分と異なる立場や気持ちの違う友だちの存在を通して、他者を尊敬することを学んだ。	①みえない世界 ②自作資料	友達の考えを認めることで、他者への思いやりの心を持つことができ、率先して手を差しのべられるようになった。
	5	⑭人権一般	友だちの良いところを見つけたり、自分を振り返ったりすることで、自分の長所を伸ばしていくことを学んだ。	①わたしたちの道 ②自作資料	友だちから自分の良さを教えてもらうことで、自信がつき友だちも自分も大切にするようになった。
	6	⑤同和問題 ⑭人権一般	女性で長野県出身の高橋くら子さん（全国水平社）の生き方を学んだ。	①あけぼの ②わたしたちの道	社会科学習で、全国水平社の調べ学習を元に、高橋くら子さんの生き方から差別を許さない心を育てた。

児童	研修講演	テーマ	聞こえないことへの理解		○児童会「スマイルボード」「おはよう玄関」「プレイ・ザ・ゲーム」等を通して全校で仲良しを深める活動に取り組むことができた。　○富県小・手良小との交流、新山保育園・地域の方との交流によりコミュニケーション力を高めることができた。　○全校縦割り清掃によって、少人数ながら協力し合って学校中の清掃に取り組んでいる。
		講師名(報償額)	松本ろう学校　山岡美穂先生	0円	
		連絡方法	〒399-0021松本市寿豊丘820	TEL0263-58-3094	
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　４・５・６年	回数　２　回	
			なかよしアンケート　実施学年　全	回数　６　回	
	児童会の取組		児童会スローガン「ＳＵＮ＆ＬＩＧＨＴ（サン＆ライト）」すがすがしいあいさつしを広げ、後ろを向かずに、仲間と協力し合う明るく楽しい新山小学校＋一人ひとりが輝ける学校を目指して、みんなが仲良しになれるように集会やゲームなどを通して取り組んだ。		

保護者	研修講演	テーマ	インターネットを安全に楽しむために		○今年度も講演会を学校・PTA・育成会・公民館の四者共催で行い，親子でお聴きした。　○茅野高校大倉宏夫教諭にメールや書き込みなどによっても，人権侵害が起こることを，分かりやすく教えていただいた。
		講師名(報償額)	茅野高校　大倉宏夫教諭	0円	
		連絡方法	〒391-8511茅野市宮川１１395	TEL0266-72-3175	
	家庭への発信・連携		○学級便り、学校便りを通して、子どもたちの様子や取り組みの様子を知らせてきた。　○人権同和教育を扱った授業参観を行い、後の学級懇談会で当日の様子についてや人権同和教育について話しあった。		

職員	研修講演	テーマ	①聞こえないことへの理解 ②花の教え		○職員研修として，長谷中・長谷小と合同で松田泰俊先生のお話をお聞きすることができた。改めて一人一人の子どもを大切にすることを教えられた。　○本校には難聴の児童が5年生に在籍している。難聴とはどういう現象なのか，コミュニケーションを図るために，周囲の人はどうすれば良いのか等についてを毎年学習会を持ち，児童・職員が理解を深めている。
		講師名(報償額)	①松本ろう学校　山岡美穂先生 ②伊那市教育委員長　松田泰俊先生	①0円 ②0円	
		連絡方法	①〒399-0021松本市寿豊丘820 ②〒396-0402　伊那市長谷溝口869	TEL0263-58-3094 TEL0265-98-2850	
	校内組織の取組		○全校児童の「個別の指導計画」を作成し、特にコミュニケーション・対人関係について支援の方向を考えてきた。　○なかよしアンケートを通じて児童の実態を探り、全職員で対応を考えてきた。　○職員会議、学年会で、各クラスの子どもたちの様子を伝え合い、理解を深めると共に、その都度対策をとってきた。		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○新山保育園園児との交流。　○手良小学校との交流。　○富県育成会が企画する交流会やハイキングなどに参加。富県小学校との交流。　○地域公開参観日に地域のお年寄りを招きお年寄りや地区外の方とふれあう。　○「秋の自然に親しむ日」に地域の方に案内してもらってキノコ狩りをした。　○さくらの会の皆さんと、よもぎもち作りや、ひな祭りの会などに参加した。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	今年度は10月に本校を会場に学校人権同和教育研究授業を行った。全校集会で月目標振り返り集会を行ったが，その話し合いの中で子どもたちが改めて友だちの大切さに気づく大切な場となった。
	次年度に向けての要望
	人権同和教育は，すべての教育の基礎になるものである。引き続き前向きに取り組みたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　美篶小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	①きまりやルールを守って，明るく気持ちよい生活を送る。　②友だちと仲良く助け合って生活することの大切さを学ぶ。	①あけぼの ②心のノート ③私たちの道徳 ④学校裏の林	学校生活のきまりやルールを守ろうとすることができた。また、積極的に友だちに声をかけたり友だちのいい所を認めたりすることができた。
	2	⑭人権一般	友だちのよい所を認め合い，互いを尊重し合える仲間意識を育てる。	①あけぼの ②心のノート ③私たちの道徳 ④収穫した野菜の調理活動	男女関係なく声をかけたり遊んだりする姿が見られるようになった。また、困っている友だちがいると進んで助けようとすることができるようになった。
	3	⑭人権一般	小動物の飼育活動を通して，自他の命を尊重する態度を養い，相手の気持ちを考えて進んで行動できるようにする。	①あけぼの ②心のノート ③私たちの道徳 ④小動物の飼育	烏骨鶏やうさぎの気持ちに寄り添いながら世話をしたり命に向き合ったりすることができた。また、動物のために進んで行動することができた。
	4	⑭人権一般	野菜作りや調理活動を通して，友だちと考えを述べ合い，相互理解を図りながら，よりよい仲間作りをめざしていこうとする態度を養う。	①あけぼの ②心のノート ③私たちの道徳 ④なかよしカルタ	様々な活動の過程や振り返りの中で、友だちの良いところに自然に目が向くようになった。また、仲間とコミュニケーションを取り合ったり協力し合ったりして活動に取り組んだ。
	5	⑭人権一般 ⑤同和問題	「あけぼの」を教材として，同和問題に苦しむ人々の思いを知り，日々の生活の中で差別をなくそうとする心を育てる。	①あけぼの ②アイガモの飼育 ③私たちのお花屋さん （グループワーク）	自分から積極的に友達と関わったりお互いに助け合ったりする姿が増え、友だちとよりよい関係を結ぼうとすることができた。
	6	⑭人権一般 ⑤同和問題	「あけぼの」を教材として，差別への歴史的背景や人々の思いを知り，差別のない社会をきずこうとする気もちを育てる。	①社会科教科書 ②あけぼの	差別がどのようにして生まれたのか、その歴史的背景を理解できた。同和問題を考える大切さが、心情面でさらに深く追究できるとよいと思った。

児童	研修講演	テーマ	命の誕生について		○すごい数の中から自分が産まれたんだと思った。もし少しでも違っていいたら，今のクラスのメンバーにも会えなかったんだと思った。 ○まゆみ先生のお話を聞いて，どんなに大変で苦しいことがあっても乗り越えて，自分の命を大切にしようと思った。 ○私は「奇跡」が重なって産まれてきたから，この「奇跡」を大切にしたいと思った。
		講師名(報償額)	小林まゆみ助産師	11,000円	
		連絡方法	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂4013　℡09-2448-4669		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　４～６年	回数　２　回	
			他　実施学年　２・３年	回数　１　回	
	児童会の取組		○異年齢グループでの活動（桜並木飯盒炊爨　○なかよし給食　○かよし花壇 ○読み聞かせ　○児童会祭り）		
保護者	研修講演	テーマ	命の誕生について		○親子で命について話すことがあまりないので，このような講演会を聴くことができて大変助かります。 ○自分の子どもが産まれたのはすごい奇跡のようなものなんだなと改めて思った。 ○出産の映像を見せていただいて，自分の子の時を思い出しました。これからも大切に育てていきたいと思いました。
		講師名(報償額)	小林まゆみ助産師	11,000円	
		連絡方法	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂4013　℡090-2448-4669		
	家庭への発信・連携		○玄関黒板への人権標語や人権に関わるクラス目標の掲示 ○「なかよしの木」の掲示　○学校生活におけるアンケートの実施　○人権だよりの発行		
職員	研修講演	テーマ	自尊感情を高める指導について		前半は自尊感情の定義や高め方について、後半は体を動かしながらのソーシャルスキルトレーニングのゲームを教えていただいた。ゲームはすぐにクラスに活かせたと好評であった。
		講師名(報償額)	南信教育事務所　生涯学習課 社会人権教育指導主事　林尚之先生	0円	
		連絡方法	〒396-0025伊那市荒井3497　℡0265-78-2111		
	校内組織の取組		人権教育実践事例集の作成・アンケートの集計と分析		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			○伊那養護学校との交流　○東部中学校区の特別支援学級の交流 ○美篶保育園，美篶西部保育園との交流　○小中連絡会での意見交換　○幼保小連絡会での意見交換　○守り育てる会での意見交換		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	第２回研修会での講演について、人権同和教育の意義や指導について具体的でわかりやすく教えていただけたことがよかった。そのため、校内の先生にも還元しやすいと感じた。次年度も早い時期に同様の研修を行ってほしい。
	次年度に向けての要望
	ＱＵ実施にあたり、低学年も市の方で予算化していただけるとありがたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向　ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重　自尊感情　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

⑤拉致被害者等　⑥その他（性的指向・性自認等）　⑦人権一般（生命尊重、自尊感情、人とのかかわり能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　手良小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	「こころのもり」を読み、友だちへの優しさについて考えたり自分の事について振り返ったりした。	手作り紙芝居「こころのもり」	場面ごとに区切って，出てくる動物たちになったつもりで，友だちに優しくされたことやその時の気持ちを考えることができた。
	2	②子ども	「ふわふわことば　ちくちくことば」何気なく使っている言葉だが，受け取る相手の気持ちになって使っていいか悪いか考え、実践できるようにする。	あけぼの	どんな言葉がふわふわことば・ちくちくことばなのかを挙げて教室に掲示することで，気にして話すことができるようになった。
	3	⑭人権一般	お母さんや祖父母との会話を中心に振り返り，自分の言葉についてお家の方の気持ちを考え，より良い言葉を使えるように考えて生活する。	自作資料（お母さんからの手紙）	保護者の方に実際の会話の様子を伝えてもらい，自分が予想した気持ちとの差を理解することができた。
	4	④障害者	様々な人が生活している地域社会で、すべての人々が暮らしやすい社会を目指し、自分は何ができるか考える。	あけぼの「わたし」	自分のちょっとした行動で、心の交流ができたという資料の内容は理解できた。更に、自分の生活の中にあてはめ、行動化につなげることが必要と感じる。
	5	④障害者	「オトちゃんルール」を読み、障害のあるおとたけさんがなぜ一番好きな時間が休み時間だったのか考え、相手の立場に立って考えることの大切さやよさに気づくことができる。	オトちゃんルール（わたしたちの道）	低学年の友だちとサッカーをして遊ぶ時に、力の差などで不満を持っている子ども達が、ルールを工夫することでみんなが楽しく遊べることにつなげて考えることができた。
	6	⑤同和問題	高橋くら子さんが歩んだ差別との戦いの日々を知ることを通して、基本的人権と人の生き方について考える。	あけぼの わたしの道を～高橋くら子の生き方～	慣習として行われていた差別によって起こった、切ない出来事を知ることができた。部落差別、同和問題、長野県水平社など難しい言葉が出てくるのでもう少し丁寧な語句の説明が必要であった。

児童	研修講演	テーマ	体と心をほぐす体操とお話～自分を知るそして前へ～		体操では，話題の選手のポーズと説明していただき，格好良く決めることができた。心の話では，過去・現在・未来の自分を思い描き「自分はできる」と信じることを教えていただいた。
		講師名(報償額)	伊那市総合型地域スポーツクラブ 統括マネージャー　山岸洋子さん	10,000円	
		連絡方法	〒396-0026　伊那市西町5824ウエストスポーツパーク管理センター２階　℡0265-73－8573		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　４～６年	回数　2　回	
			他　実施学年	回数　回	
	児童会の取組		朝のあいさつ運動や，秋のなかよし旬間での世界の言葉であいさつを交わし合うゲーム等，全校が気持ちよく挨拶することに取り組めた。また，縦割り班（仙丈グループ）での活動を通して，異年齢の友だちとの関わりを深める事ができた。		
保護者	研修講演	テーマ	体と心をほぐす体操とお話～自分を知るそして前へ～		子どもたちと同様に体を動かしながら話をお聞きした。思考は実現化することや「親愛なる子どもたちへ」という文を紹介していただき，地域の方々と共に，人を大切にすることを教えていただいた。
		講師名(報償額)	伊那市総合型地域スポーツクラブ 統括マネージャー　山岸洋子さん	10,000円	
		連絡方法	〒396-0026　伊那市西町5824ウエストスポーツパーク管理センター２階　℡0265-73－8573		
	家庭への発信・連携		高学年が親子で聞いた情報教育に関わる講演会の資料を配付し，インターネット等による人権侵害が起こらないよう周知した。また，人権同和に関わる授業参観後，懇談会でも話題にすることができた。		
職員	研修講演	テーマ	授業のユニバーサルデザイン化について		一人ひとりの子どもが「わかる･できる」授業を目指して，発達障害を持つ子どもたちを含めた支援の仕方等について研修した。視覚支援や読み書きの支援，教室環境，教具等，具体的な事例を通して教えていただき，参考にできた。
		講師名(報償額)	伊那養護学校　自立活動担当 本田 矢島	0円	
		連絡方法	〒399-4501 伊那市西箕輪8274　℡0265-72-2895		
	校内組織の取組		実践事例集の作成		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	学校だよりを手良地区全戸に回覧したりＰＴＡ新聞を全戸に配布したりし，学校での活動や取り組み，子どもたちの様子などを知らせたり理解していただいたりすることに役立てることができた。また，新山小学校との交流会を通して，小規模校同士の交流を深めることができた。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	夏の研修会では，自分自身の人権感覚や人権教育について改めて考えさせられ，自己を省みるよい機会になった。
	次年度に向けての要望
	授業公開や研究会を続けていただき，他校の実践から学び合う場が持てると良い。

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　　手良小学校

[illegible]	授業公開や研究会を続けていただき、他校の実践から学ぶ場が持てるとよい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　東春近小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ⑭人権一般	①地域の高齢者との交流。 ②エンカウンターやグループワーク等を通してコミュニケーション力を育てた。	①わたしたちの道 ②あけぼの	①わらべ歌やけん玉、音楽会の発表曲を見ていただき交流した。　②お年寄りへの理解と思いやりを育てることができた。
	2	②子ども ⑭人権一般	①友達の良い所を認め合う。 ②友だちと仲良く助け合って生活する。 ③友だちとのトラブルの解決の仕方を学ぶ。	①わたしたちの道 ②あけぼの	①エンカウンターを取り入れて、自己や他者の理解を進めた。　②いいところさがしをし、自己肯定感を高めたり他者のよいところを認めて良好な人間関係作りに努めた。
	3	②子ども ⑭人権一般	①時事や行事に合わせて教材を選んだ。 ②ワークショップ等で、コミュニケーション力を育てた。	①わたしたちの道 ②あけぼの	自分たちに近い問題を話し合ったり、家庭で話題にしたり、相手に配慮して行動する場面があるようにしたりした。
	4	②子ども④障害者 ⑭人権一般	①点字体験を通し、視覚障がい者について理解を深めた。 ②人とのよりよい関わり方について学んだ。	①わたしたちの道 ②あけぼの	点字ボランティアをしている方のお話を聞き、点字体験をさせてもらったことで、より関心を持って取り組めた。
	5	④障害者 ⑭人権一般	①アイマスク体験を通して障害について理解する。 ②他者の立場を理解する。	①社協資料 ②あけぼの	①実体験から学ぶ効果は大きい。 ②友だちの良さについて目を向けられるようになってきた。
	6	③高齢者 ⑤同和問題	日本の歴史の中で社会構造として差別に至る身分のおこりから、差別される側の人々がどのようにたくましく生きぬいてきたのか、社会の中でどのように重要な役割を担い、必要とされてきたのかについて学習した。	①社会科教科書 ②ネット検索による資料	差別事象について、負の面から扱うのではなく、日本の社会構造の中で必要且つ重要な役割を担ってきたことに焦点をあてたことで、差別する根拠がないことを歴史的事実としてとらえることができた。

児童	研修講演	テーマ	①いじめられた人の気持ち（5，6年） ②ＣＡＰワークショップ（１年） ③インターネット等人権侵害防止学習（６年） ④体験学習（高齢者6年、アイマスク5年、点字4年）		○いじめによっていじめられた人にとってどんなにせつない人生をしいられるか、いじめられた人にとって人権的にどんなに深い傷を負うことになるか、実体験を通して感じることができた。子どもたちの思いを発表しながら、講師と共にいじめについて考えることができた。 ○全ての子どもが持っている大切な３つの権利①安心②自由③自信についてﾛｰﾙﾌﾟﾚｲや話し合いを通して学ぶことができた。保護者にも大変好評であった。 ○高齢者や障がいのある方の心情を、疑似体験することで実感を持って考えられた。
		講師名(報償額)	①岡本　豊さん ②ＣＡＰかたつむり　3名 ③ひまわりっこｾｲﾌﾃｨｰﾝｽﾞ推進事業 ④伊那市社会福祉協議会より(点字:六星会)	①　0円 ②78,000円 ③　0円 ④ 3,000円	
		連絡方法	①県教委心の支援課 人権支援係 ②松本市島立367-7 ③長野県青少年育成県民会議事務局 ④伊那市山寺298 - 1	℡026-235-7484 ℡0263-47-5908 ℡026-235-7210 ℡0265-73-2541	
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　４，５，６	回数　2　回	1回目の結果をもとに職員研修を行い、児童理解・学級経営に役立てた。
			他　実施学年	回数　回	
	児童会の取組		○仲良し集会、縦割り活動、児童会祭りを通して、日頃接することが少ない友だちと交流する機会となった。 ○なかよし委員会による家庭訪問で、お年寄りに対し膝をついて目を合わせて話していた。うれ		

保護者	研修講演	テーマ	①ＰＴＡ講演会：あるみかんコンサート ②ＣＡＰ大人ワークショップ ③親子で学ぶセイフネット講座		①失敗から、相手の気持ちを考え、演奏・楽器を工夫したことなど、自分に近いこととして興味を持って聞けた。 ②親子で同じ学びができたことにより、共に話をして考えを深めたり子どもとの関わり方を見直したりできた。
		講師名(報償額)	①楽器製作演奏家 北原有さん、美香さん ②③児童の欄に同じ	①80,000円 ②③　0円	
		連絡方法	①〒396-0403伊那市長谷黒河内1094-1　℡0265-98-1850		
	家庭への発信・連携		○祖父母参観日で校長講話を行った。・学校便りや学級便りで人権教育の情報を伝えた。 ○11月の参観日では、人権教育に関わる参観授業をした。		

職員	研修講演	テーマ	①Ｑ－Ｕのデータをもとにした人間関係力や集団作りの学習会 ②子どもをとりまく現状について		①Ｑ－Ｕのデータや潜む問題点の読み取り方を学び、学級経営に役に立った。 ③特別養護施設に入所している児童の行動原理や発達障がいの児童の症状や原因等の話は、我々の想像を超える事もあり児童理解・児童対応に大変参考になった。 ②児童をとりまく様々な要因について数字を使って説明していただいた。子どもは、自分の環境がおかしいことに気づいていない、他の問題をすりかえるために自分が問題を起こす役割を持ってしまう等聞き、家庭状況も含めて対応を求められることを学んだ。 ④その時々の言葉と行動力が、子どもへ重大な影響力を持つことを理解すべきと感じた。
		講師名(報償額)	①西箕輪小学校　原　一宏　先生 ②スクールカウンセラー　浦野圭子先生	①　0円 ②　0円 ③　0円	
		連絡方法	①〒399-4501 伊那市西箕輪3900-138 ②〒399-4432 伊那市東春近中殿島2408 ③〒399-4432 伊那市東春近7000-8 ④〒399-4432 伊那市東春近7389	℡0265-72-2639 ℡0265-72-5245 ℡0265-72-6456 ℡0265-72-3400	

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　　東春近小学校

	校内組織の取組	○職員会議での子どもを語る時間を使って児童理解を深めた。また、必要に応じて関係職員が集まって対応や児童理解を深めてきた。　○学級経営計画についてグループ討議を行った。
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等		○伊那養護学校の友達と運動会（5/31）,親子交流会（6/26）,やきいも大会（11/13）などで交流した。(6年) ○中央保育園年長組との交流（１，５年）　　○地域の老人ホーム（ｵｰﾄﾞﾘｰ）への訪問（2回） ○春富学区特別支援学級交流会を2回行った。　○学校便りは、支所を通して地域へ回覧した。
人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想	
	新山小学校の全校で話し合い、自分なりに相手の気持ちや事情を考え伝えようとするだけでなく、よりよい方法ををみんなで見つけようとする姿がすばらしかった。その後の各教室での話し合いも充実していた。	
	次年度に向けての要望	
	Ｑ－Ｕの予算化、講師の紹介を引き続きお願いできるとありがたい。	

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　西箕輪小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑭人権一般	友だちと仲よく助け合って生活することの大切さを学ぶ	①１年生の道とく ②わたしたちの道 ②あけぼの	普段の自分の発する言葉を振り返ったり、友だちのステキな所を見つけて、誰か当てることで、良さに目を向け笑顔になれた。
	2	①女性　②子ども ④障害者 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	友だちと一緒に活動することを楽しみ、友だちの良さを見つける	①２年生の道とく ②わたしたちの道 ③あけぼの ④自作プリント	自分と友だちとは違い、それがおもしろいと実感できた。クラス全員の良いところを見つけることで、自分の良さに気付く子もいた。
	3	①女性 ②子ども ④障害者 ⑭人権一般	①友だちの良さを見つけあい、伝え合う。 ②様々な個性を認めあい支え合う。 ③伊那養護学校との交流	①３年生の道徳 ②わたしたちの道 ③あけぼの いじめなんかしたくない	資料の仲のいじめの様子をとらえて、たくさん意見を出す中で、子どもたちなりにいじめはいけないという思いを持つことができた。
	4	②子ども ③高齢者 ④障害者⑦外国人 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	①友だちの良さを見つけあい、伝え合う。 ②外国の文化や習慣から違いや良さを学ぶ。 ③伊那養護学校との交流	①４年生の道徳 ②わたしたちの道 ③あけぼの	友だちの言葉によって、自分のいいところを、再発見できた。外国籍の児童の文化や習慣から、違いや良さを学ぶことができた。
	5	②子ども ③高齢者 ④障害者⑤同和問題 ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ⑭人権一般	①相手の立場に立って考え、友だちと仲良くする。 ②伊那養護学校との交流	①５年生の道徳 ②わたしたちの道 ③あけぼの	あっていいちがい、あってはいけない違いについてかんがえることで、自分でしっかり考えて判断しなくてはいけないことを学んだ。
	6	①女性 ②子ども ③高齢者④障害者 ⑤同和問題⑧HIV ⑪ｲﾝﾀｰﾈｯ⑭人権一般	①社会科江戸時代身分制度の学習 ②伊那養護学校との交流	①６年生の道徳 ②わたしたちの道 ③あけぼの ④社会科教科書	ロールプレイによって、友だちへの言葉づかいや行動を考えることができた。社会科の授業で、身分制度のことを教科書や資料集から学習した。

児童	研修講演	テーマ	車いすになっても・・・		実演を交えたお話で、とても分かりやすかった。死まで考えた方が、こんなにもがんばっているんだということを、子どもたちは感じ取っていた。実際オリンピックの様子をビデオで見たり、メダルを見せてもらったことも子どもたちの心に響いていた。
		講師名(報償額)	アテネパラ銀メダリスト 前田大介さん	15,000円	
		連絡方法	下伊那郡松川町 長野県障がい者スポーツ協会 ℡0262-95-3661		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　全校	回数　3　回	CAPかたつむりワークショップ（４年）
		学校生活調べ	実施学年　全校	回数　2　回	
	児童会の取組		児童会祭り　伊那養護学校との交流会　なかよし給食　なかよしの木　姉妹学級での本の読み聞かせ		
保護者	研修講演	テーマ	CAPワークショップ		ワークショップは、全校の保護者に呼びかけて、希望者が参加して行った。子どもたちが学習した内容を一緒に学習したり、人権について一緒に考え合ったりすることができた。
		講師名(報償額)	CAPかたつむりの方	30,000円	
		連絡方法	ＣＡＰかたつむり事務局 ℡0265-74-5899		
	家庭への発信・連携		参観日の祭に、人権に関わる授業を公開		
職員	研修講演	テーマ	SNSとの正しい付き合い方		簡単な画像でも本人を特定できるなど、とても恐ろしい面がある。大人が知らないところで、いじめが起きたり、支払いの請求がきてしまったりするなど、インターネット・ラインの危険性について学ぶことができた。
		講師名(報償額)	西箕輪中学校 有賀大教諭	0円	
		連絡方法	〒399-4501伊那市西箕輪大萱6569-1 ℡0265-72-6421		
	校内組織の取組		ＱＵをもとに研修を深めた。（２回）　講師　原　一宏教諭		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			○伊那養護学校とのお楽しみ交流会（全校）　○伊那養護学校とのクラス交流　○大萱の里との交流		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	第１回目の委員会は運動会直前でとても忙しく、学校を空けたりクラスを自習にしたりするのができにくい時期だった。各学校で作成した文章は見ればいいので、困っている点や、本年度特に重点とした点のみを発表するなどして、会の持ち方を工夫してどうしても必要なことのみを扱っていただけるとありがたい。
	次年度に向けての要望
	人権フェスティバルは、保護者懇談会直前の休日ということで、大変負担だった。全国人権・同和教育研究大会が長野であったが、各学校３名必ず行かなければならないというのは、とても大変なことだった。なるべく動員がないような運営をお願いしたい。また、長野まで休日に行った分の、旅費くらいは出していただけるとありがたかった。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々

⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　西春近北小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ⑭人権一般	①生命尊重　②ふくしってなあに　③みんなの生活　④友だちとなかよく　⑤グループワーク　⑥エンカウンター	①１年生の道とく ②わたしたちの道 ③あけぼの ④自作教材	協力ゲームやぽかぽかことば、つながり遊びなどを通して、みんなで活動する心地よさやあたたかさを感じたり聞いたり伝えたりすることの大切さを感じることができた。その時その時間だけのものにせず、継続的にクラスの中に位置づけていくことが大切だと感じた。
	2	②子ども ⑭人権一般	①生命尊重　②エンカウンター　③グループワーク　④ふくしってなあに　⑤コミュニケーション能力　⑥相手の気持ちを考えよう　⑦友だちのよいところをみつけよう	①あけぼの ②年生の道とく ③私たちの道	グループワークを行い友だちと力を合わせること、いろいろな考えがあることを感じられた。ソーシャルスキルカルタを昨年より継続して行い普段の生活と合わせて考えられた。各教科においてペアでの活動を多く増やし関わりを深めていく。
	3	②子ども ④障害者 ⑭人権一般	①福祉体験　②自尊感情を高めるコミュニケーション能力の育成　③命の大切さ ④相互理解（相手の気持ちを考える）	①あけぼの ②わたしたちの道 ③３年生の道徳	福祉体験で点字学習やアイマスク体験をし、自分たちの日常生活の中の福祉にも目を向け考えている子が多かった。「元気」「やる気」「勇気」が出る、わくわく言葉を使う練習をしたことにより、友だち関係がよりよくなってきた。
	4	②子ども ③高齢者 ⑭人権一般	①命のつながり ②自尊感情を高める ③高齢者障がい者の理解	①あけぼの ②わたしたちの道 ③４年生の道徳	ひとりひとりが家系図を作成し自分につながった人がどれだけいたのかを考え合った。単発の授業なので、日々の生活やつながりをどうつくっていくかが課題。
	5	②子ども　④障害者 ⑦外国人 ⑪インターネット ⑭人権一般	①命の大切さ　②集団としての協力　③手話体験　④インターネット・スマホの脅威　⑤性教育	①あけぼの ②５年生の道徳 ③私たちの道	自由と自分勝手について。違いや気をつけなければならないことを、曲を聞いたり日頃の経験から振り返ったりすることで自分を考えることや集団の中での自分について考えることができた。
	6	②子ども　③高齢者 ⑤同和問題 ⑪インターネット ⑭人権一般	①命の大切さ　②認め合う仲間　③高齢者体験　④身分差別と同和問題　⑤インターネット・スマホによる人権侵害	①わたしたちの道 ②６年生の道徳 ③あけぼの ④会科教科書	友だちのよいところ探しをする中で、友だちの良さに目を向ける心情を養うことができたとともに友から認められる喜びを感じることができ、お互いを尊重する意識が高まった。

児童	研修講演	テーマ	大切なあなたに伝えたい命の話		性教育に合わせ、毎年５年生を対象に講演いただいている。子どもたちの感想からみても、命の大切さを感じることができる内容なので今後も継続していきたい。
		講師名(報償額)	助産師 小林まゆみさん	22,000円	
		連絡方法	〒399－4117駒ヶ根市赤穂北割２区　℡0265-81-4582		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　４～６年	回数　２　回	ＱＵの結果も参考に担任以外の先生が授業に入り学級経営を支えているクラスもある。
		いじめアンケート	実施学年　１～６年	回数　２　回	
	児童会の取組		なかよし旬間（なかよしの木、なかよし広場）縦割り清掃、児童会まつり（焼き芋大会）、ウオークラリー、ユニセフ募金、被災者への募金（アルミ缶回収）		
保護者	研修講演	テーマ	三つの宝物		今年は四者共催人権講演会として開催した。５、６年児童も一緒に参加したが、わかりやすい内容であり、参加型だったので楽しめたようだ。保護者からも元気をいただける内容でよかったと好評だった。
		講師名(報償額)	笑いの療法士 城取茂美先生	10,000円	
		連絡方法	〒399－4501伊那市西箕輪２８９６　℡0265-72-0040		
	家庭への発信・連携		学校便り、学年・学級だより		
職員	研修講演	テーマ	通常学級における特別な支援を要する児童及びその保護者への対応		具体的にどんな支援をしたらよいか、板書例等提示していただき参考になった。ほめることの大切さを再認識できた。教室環境や言葉がけも子どもに合ったものを考えていきたい。
		講師名(報償額)	伊那養護学校　福島徹教諭	０円	
		連絡方法	〒399-4501伊那市西箕輪大萱8274　℡0265-72-2895		
	校内組織の取組		地域巡り、ＩＣＴ（タブレット）研修、運動研修、畑の野菜栽培の仕方研修等。		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			特別支援春富５校交流会　保育園児との交流　福祉体験学習		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	新山小学校の全校児童による授業を参観させていただいた。子どもたちだけで集会を進められる力、子どもたちがお互いのよさを認め合える温かさを感じることができ、とても勉強になりました。
	次年度に向けての要望
	学校人権教育連絡協議会と人権同和研究推進委員会の研究授業が、同じ週にあったので、別の週にしていただきたい。人権教育に関わる講演会の講師の先生や講演内容、各校での取り組み内容について情報交換できることは有難い。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

⑭拉致被害者等⑮その他（性的指向・性同一性障害者）⑯人権一般（生命尊重、自尊感情、人とのかかわり方）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　西春近南小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ③高齢者	身近にいる人に暖かい心で接し、親切にする。	①わたしたちの道 ②あけぼの	親切にすることが「かっこいい」と思うようになり、そのような行動が増えた。
	2	⑭人権一般	リレーで走るのが遅くなってしまった時にチームの友だちに何と言ってもらったらやる気が出るのか考え合った。	①わたくたちの道 ②あけぼの	普段何気なくしてしまう声がけで深く傷ついてしまう友だちがいることが分かったり、なんと言えばいいのか具体的に分かったりして、二年生なりにコミュニケーションの取り方が理解できた。
	3	②子ども ③高齢者 ⑭人権一般	①友だちとの仲よし ②学級社会で自立できる自分　など	①わたしたちの道 ②あけぼの	日々の活動、授業を通して、学級内の人権感覚を高めていく。
	4	②子ども ⑭人権一般	①友だちのいいところさがし ②ＣＡＰワークショップ	①あけぼの ②エンカウンター集	①自分のいいところや友だちのいいところを探すことで自己肯定感が高まった。 ②ＣＡＰでは、子どもの権利について学習した。
	5	④障害者 ⑭人権一般	①伊那養護学校との交流 ②保育園との交流 ③スポーツ交流	わたしたちの道	外部との交流をすることで、普段関わることのできない人たちへの接し方を考え行動することができた。回数を増やせると良い。
	6	②子ども ③高齢者 ⑭人権一般	いいところをみつけよう	①わたしたちの道 ②あけぼの	友だちのいいところに目を向けて理解を深めること、自分のいいところを知って自己肯定感を高めることにつながった。

児童	研修講演	テーマ	読書から学ぶ人の生き方		５、６年童が保護者と一緒に講演をお聞きし、戦争体験の手記などを交えながら平和について考えたり、人の生き方についてお話しを聞くことができた。
		講師名(報償額)	駒ヶ根市立図書館 館長 小川清美 先生	0円	
		連絡方法	〒399－4115 駒ヶ根市上穂栄23-1　℡0265-83-1134		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　全学年	回数　1　回	なかよし旬間中にいじめや友達関係、なかよしについてのアンケートを実施。
		他	実施学年	回数　回	
	児童会の取組		なかよし旬間に「児童会まつり」を企画し、年間を通して活動している縦割り班が、６年生が企画したゲームなどで交流した。図書、保健給食、運動遊びの各委員会も異学年交流に重点を置いた企画の実施。		
保護者	研修講演	テーマ	読書から学ぶ人の生き方		講演内容が、読書を通して人の生き方や気持ちの持ち方について考える内容になって、保護者ばかりでなく児童も一緒に聞くことができて、保護者にもより関心を持ってもらえた。
		講師名(報償額)	駒ヶ根市立図書館 館長 小川清美 先生	0円	
		連絡方法	〒399－4115 駒ヶ根市上穂栄23-1　℡0265-83-1134		
	家庭への発信・連携		なかよし旬間の前後の学校便りや学級のお便りで、人権や同和についての旬間があることをお知らせした。また、参観日は人権や人を思いやることについての授業であることをお知らせした。		
職員	研修講演	テーマ	読書から学ぶ人の生き方		保護者、児童と共に、講演をお聞きできた。読書という共通の話題で保護者懇談会や学級の中で話す機会ができた。
		講師名(報償額)	駒ヶ根市立図書館 館長 小川清美 先生	0円	
		連絡方法	〒399－4115 駒ヶ根市上穂栄23-1　℡0265-83-1134		
	校内組織の取組		ＰＴＡ・西春近公民館・青少年育成会・学校の四者が共催して講演会を企画、実施した。		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			○講演会は、ＰＴＡ・西春近公民館・青少年育成会の地域の組織と連携し、講師の選択・講演の内容等を決めた。　○子ども達と直接触れ合い学校を知ってもらうよう、地域の方々が講師になってクラブ活動を実施。「南小体験教室」は、地域の方を講師に体験教室を開催。　○お年寄りの方と一緒に草取りや花壇づくり、草刈りなどの作業をしたり、活動の様子を見ていただく交流をしてい		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	○第二回目の研修会の時、講師の方から、『人権教育についての授業は道徳だけでなくどの教科でも人を思いやる心を育てることに繋がっているから、いろいろな教科で取り組んでほしい。』というお話があり、職員会議でお話しした。 ○人権旬間の反省の中で、人権旬間の授業はじっくり人権について語り合う授業が良いのでは、という反省もあった。
	次年度に向けての要望
	○第二回目の研修会は、内容のある研修ができたので人権教育についてのお話しがお聞きできるとありがたい。 ○授業や人権旬間に生かせるとさらによいと思います。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　高遠小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども	日常の言葉使いについて考えを深めた。	ふわふわことば、ちくちくことば	普段使っている言葉をふり返り、その時の気持ちを考え、「ふわふわことば」を使っていこうと思うことができ、実行している。
	2	⑭コミニュケーション	実際のトラブルについて、自分はどうするか考え合った。	どうしよう（あけぼの）	生活場面を取り上げ、自分で考えたり、資料から考えたりすることができた。
	3	⑭自尊感情④高齢者	中核活動や栽培活動の中で、友だちの良さを見つけ合う。	友だちのよさ	友だちの良さについて一人ひとりが考え、栽培活動や中核活動に活かすことができている。
	4	⑭人権一般	小麦作り、饅頭作り、売る活動で考えることができた。	ひとりじゃないからがんばれる	学年の活動を通し、小麦で何を作るか、これからの目標も定めながら活動を続けてきた。
	5	⑭人権一般⑥アイヌの人々の暮らし	オペレッタのシナリオ作りを通して、お互いの意見を聞き、演技に活かした。	自分はどうしたいか	オペレッタのシナリオ作りで自分の考えを出し、友だちの考えも受け入れながら、シナリオや演技について深めることができた。社会の授業でアイヌの人々の暮らしについて資料から学んだ。
	6	⑤同和問題	「身分上厳しく差別された人々」のあった事実と、全国水平社の学習をした。	社会教科書	歴史上の事実について、歴史博物館の見学や、写真などの資料を見せることにより、意識を高めることができた。

児童	研修講演	テーマ	小学生期の運動経験と脳の発達		体育館で、全校親子一緒に講演を聞いたり、実際に簡単な運動を行ったりした。親子や友達とのコミニュケーション増進につながる運動を紹介してもらったり、脳の発達との関連について講義をお聞きすることができた。
		講師名(報償額)	体育センター　小川輝敏主事	0円	
		連絡方法	〒390-1131 松本市大字今井3433	TEL0263-86-0218	
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　高学年	回数　2　回	いじめアンケートやＱＵの実態は、教職員が児童の実態をつかみ、すぐに対応した。
		他（いじめ）	実施学年　全学年	回数　2　回	
	児童会の取組		なかよし旬間を設けた。「あいさつふりまき隊」が毎朝全校を回る、なかよし集会、なかよし給食、なかよしポスト等の活動をした。集会では仲良く遊んだり、縄跳び大会の練習をした。昼の放送でなかよしポストに入っていたカードに書かれた「友だちへのありがとう」を毎日伝えた。旬間以外にも、挨拶運動や、集会、ｵﾘｴﾝﾃｰﾘﾝｸﾞ、児童会祭等縦割りｸﾞﾙｰﾌﾟでの活動を企画し、その活動を通して友だちとの関わりを深めることができた。		

保護者	研修講演	テーマ	ネット安全教室　コミニュケーション上手になろう		高学年児童も参加。講演会は保護者も児童も共に聞ける内容であった。アニメーションで失敗事例を通して、この時どうすればよいか？親とその場で話をする場面も取っていただき、困ったことが起こる理由と対処法の原則を知ることができ、インターネットのルールとマナーを守ることの大切さも扱ったお話で、児童保護者共に大変ためになる講演会であった。
		講師名(報償額)	ＮＴＮ東日本　小林裕子さん	0円	
		連絡方法	〒380-8519 長野市新田町1137－5	TEL026-225-4404	
	家庭への発信・連携		子どもと一緒に参加して、感想も聞き今後について話すことができた。		

職員	研修講演	テーマ	ＣＡＰ大人ワークショップ		ワークショップで実際自分が権利を奪われる立場になったり、話を聞く立場になったりすることで、それぞれの気持ちを体験することができた。普段何気なく通り過ぎてしまうような事情でも、心にとめる体験ができた。
		講師名(報償額)	ＣＡＰかたつむり　赤羽千保さん	30,000円	
		連絡方法	〒396-0021 伊那市伊那5989-1	TEL0265-76-7388	
	校内組織の取組		○相談ポストを常設　○アンケートからの実践事例研究		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○高遠城址公園で、「孤軍高遠城」の踊りを桜を見に来たお客さんに見せた。（5・6年）　○運動会で披露した「よさこいソーラン」をお客さんに見せた。（4年）　○保育園やさくらの里へ行き、交流を行った。（3年）　○高遠さくら祭りやご城下祭りでまんじゅうの販売を行う。（4年）　○ご城下祭りやＪＡ祭りで地域の方に演奏や踊りを発表した。　○PTA新聞を地域に配布した。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	人権同和教育では、授業のみならず、日常的な子どものとらえと問題を感じたその場での取り組みや指導が大切で、各学校の取り組みや計画をお聞きすることで、とても参考になりました。研修や研究授業において意識を高め、また全職員に還元していくことで、全職員に還元していくことで、学校全体の共通、共有の指導を築き上げていくことが大切に思いました。
	次年度に向けての要望
	今年度のように人権教育に活用できる資料や展開のアイディアなどを学ことができる機会があると良いと思います。

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　　高遠小学校

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　高遠北小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	④障がい者 ⑭人権一般	①友だちのよいところを認めたり、ありがとうの気持ちを伝えたりした。（ありがとうカード）　②アイマスク体験をした。	①わたしたちの道 ②あけぼの ③どうとく（低）	資料の「橋の上のオオカミ」「しっぽのないさる」などの資料を使い互いに認め合ったり支え合う姿が見られるようになった。
	2	④障がい者 ⑭人権一般	①あったか言葉を見つけたり日常で使ったりしてきた。　②目の不自由な方についてのお話を聞き、アイマスク体験をした。	①わたしたちの道 ②あけぼの	体験をして相手の立場に立って考えたり知るきっかけになった。帰りの会で「あったか言葉」を発表し合うことで意識するようになってきた。
	3	④障がい者 ⑭人権一般	①友だちの良さを認め合い、伝え合うことを日常の中で行った。　②目の不自由な方についてのお話を聞き、アイマスク体験をした。	①わたしたちの道 ②あけぼの ③道徳	友だちと上手に過ごすための話し合いやルールを考えた。参観日でグループワークを行い、相手を尊重することの大切さを共に学ぶことができた。
	4	④障がい者 ⑭人権一般	①養護学校の友だちとの交流を重ねてきた。　②目の不自由な方についてお話を聞き、手話や点字を体験した。	①国語の教科書 ②福祉教育副読本「自分にできること」	国語の授業で手話や点字のＤＶＤをみたり、点字体験をしたりして、目の不自由な方の気持ちを考えたり意識するようになってきた。
	5	③高齢者 ⑦外国人 ⑭人権一般	①外国籍の児童に対する理解や支援を行った。　②高齢者関係の福祉体験を通して、高齢者への理解を深めた。	福祉教育副読本「自分にできること」	実際に体験をすることで、相手のことを理解したり考えたりして、思いを深めることができた。毎年行っていきたい。
	6	③高齢者 ④障がい者 ⑤同和問題 ⑭人権一般	①歴史学習の中で身分差別について学習した。　②養護学校の友だちとの交流を積み重ねてきた。　③福祉体験を通して、高齢者への理解を深めた。	①社会科教科書 ②資料集 ③福祉教育副読本	交流を重ねてきたことで、楽しければいいという考えから相手のことを考え、どのようにかかわればよいかを考えるようになった。

児童	研修講演	テーマ	ゆる体操、ゆるめることから学ぶ		体をゆるめることで、柔らかな頭と体になり気持ちよくなるというゆる体操を、親子で体験することができた。友だちに対しても柔らかく接することで、なかよく生活していけることを学んだ。
		講師名(報償額)	ＮＰＯ法人日本ゆる協会　猪股昭治先生	40,000円	
		連絡方法	〒113－0033東京都文京区本郷3－24－17ネクストビル501　℡03-3817-7725		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　４～６年	回数　2　回	ＱＵを２回実施し、比較検討することができ個人的に満足度の低い児童に声をかけることができた。
		他	実施学年	回数　回	
	児童会の取組		「学校をあいさつやあったか言葉でいっぱいにしよう」をスローガンに、遊びの日、みやのはら祭、なかよし給食、なかよしの木、毎月のあったか言葉、募金活動、縦割り班活動などの実施		

保護者	研修講演	テーマ	ゆる体操、ゆるめることから学ぶ		体をゆるめることで心に余裕を持ち、子どもに対して優しく接するように心掛けている。落ち着いて子どもと接することを心掛けるようになった。などという感想があった。職員もゆったりとした気持ちを心掛けるようになった。
		講師名(報償額)	ＮＰＯ法人日本ゆる協会　猪股昭治先生	40,000円	
		連絡方法	〒113－0033東京都文京区本郷3－24－17ネクストビル501　℡03-3817-7725		
	家庭への発信・連携		みやのはら祭のそば打ち、校長講話、学校だより、学級だより、参観日、懇談会、学級交流会、		

職員	研修講演	テーマ	ＳＳＴ研修会		毎日の活動の中でできることをしていく運動療法、ゲームなどを教えていただき、姿勢をよくすること、ルールを守ることなど、今できることを毎日の中でしていくことが、人とのかかわりを育っていくことを改めて教えていただいた。
		講師名(報償額)	作業療法士　町田恵子先生	0円	
		連絡方法	伊那市教育委員会子ども相談室　℡0265-72-0999		
	校内組織の取組				

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○伊那養護学校、花田養護学校、保育園、老人福祉施設等との交流　○信州高遠少年自然の家の利用などができ、ありがたかった。　○今年度から全校で「高遠そば」に挑戦し、地域の方々にそば、辛み大根、大豆の育て方、そばの打ち方等を教えていただき、地域の方々と連携して食育にも取り組むことができた。　○学校だよりで学校の様子を全戸に配布した。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	○他校の取り組みや講演会の講師などを知ることができて、大変参考になった。 ○授業参観をさせていただき、貴重なお話をお聞きしとても勉強になった。
	次年度に向けての要望
	人権教育講演会の講師や内容について情報をいただけるとありがたい。

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　　高遠北小学校

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　小学校名　長谷小学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	⑭人権一般	友達のいいところを認め、困っているときには支え合っていくことを考えた。	わたしたちの道	互いに褒め合ったり支え合ったりする姿がみられる。「すごい！」という気持ち、自分たちもがんばろうという様子がみられた。
	2	④障害者 ⑭人権一般	耳の不自由な方にお話をお聞きし、手話を教えていただいた。絵本の読み聞かせをしながら障害について考えた。	どんなかんじかなあ(中山千夏著)	障害のある方にご指導頂き「聞こえない」ということがわかり、手話に興味をもった。 困っている友達に声を掛けたり、手を出したりする姿がより多くみられるようになった。
	3	③高齢者 ⑭人権一般	サンハート美和と交流した。「孝行猿」の物語について学び、劇にして発表した。	孝行猿の物語	高齢者との関わりを通して理解を深め、相手のことを考えて行動できるようになった。家族の大切さ、命の大切さ、親への感謝の気持ち等学んだ。
	4	④障害者 ⑭人権一般	目の不自由な方のお話をお聞きし、理解を深めた。点字を打つ体験をした。毎日帰りの会で友達のよさや頑張りを認め合った。	①あけぼの ②わたしたちの道 ③社協の冊子	目の不自由な方の普段の生活の様子をお聞きし、自分たちにできることは何かを考え理解を深めた。
	5	③高齢者 ⑭人権一般	高齢者の福祉体験を通して、高齢者への理解を深めた。	①あけぼの ②わたしたちの道 ③社協の冊子	高齢者の身体不自由さを実感でき、高齢者への支援の仕方を学んだ。授業参観で行い、保護者の方々にも一緒に考えていただいた。
	6	⑤同和問題⑪インターネット、携帯電話等による人権侵害 ⑭人権一般	歴史学習で身分差別について学習した。インターネット上の人権侵害等についての理解を深めた。「リフレーミング」という技術を使い、短所を長所に変える体験をした。	①あけぼの ②社会科教科書・資料集	親子で、ブログ・SNS等の、便利さとともにある怖さも知り、今後の自分の生活を考えることができた。

児童	研修講演	テーマ	大切なあなたに伝えたい命のお話		胎児や出産の様子、家族の心情などを通して自分の命、友達の命がかけがえのないもので、大切にしなければならないと考える機会となった。保護者にも案内通知を出す等して自由に参観できるとよかった。
		講師名(報償額)	ひまわり助産院　小林まゆみさん	20,000円	
		連絡方法	〒399-4117駒ケ根市赤穂北割二区4013　℡0265- 81-4582		
	アンケート等	ＱＵ	実施学年　４・５・６	回数　各2 回	第1回の結果から状況把握、対策。第2回でさらに見直すことができた。
		生活調べアンケート	実施学年　全校	回数　2 回	
	児童会の取組		なかよし委員会を中心に毎月のなかよし集会、休み時間の友達サークル、たてわりグループの清掃など		
保護者	研修講演	テーマ	長谷っ子の健康を考える集い「親子で楽しむ運動遊び」		親子で健康の在り方を考えるよい機会となっている。親子で体を動かすことにより子どもとスキンシップを図ることができ貴重な時間を持つことができた。
		講師名(報償額)	信州大学　渡辺敏明准教授	30,000円	
		連絡方法	〒380-8544 長野市西長野６－ロ　℡026-238-4166		
	家庭への発信・連携		PTA文化部と連携をとり、保護者が中心となって遂行できた。親子の触れ合いで笑顔があふれた。		
職員	研修講演	テーマ	人権教育を進めるうえで大切にしたいこと		性同一性障害に苦しむ方の心労、性別以前の一人の人間としての人格を尊重することについて改めて考えるよい機会となった。道徳の授業にも触れ、結論は出ずとも悩む児童を評価することをご指導いただいた。
		講師名(報償額)	南信教育事務所　宮下健治　指導主事	0円	
		連絡方法	〒396-8666 伊那市荒井3497　℡0265-78-2111		
	校内組織の取組		全教育活動が人権教育に基づいて行われるように各係と連携をとり位置づけ、行った。		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○保育園、長谷中学校、サンハート美和との交流、地域の方々とよもぎ採りを行った。 ○学級通信、学校通信を通じて家庭と地域に学校活動をお知らせするようにした。 ○40周年記念音楽会を土曜日開催とし、地域の方々をご招待、PTA合唱を組織、会場全体で「讃歌ー長谷」を合唱。地域一体となって行うことができた。

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	他校の取り組みが参考になった。
	次年度に向けての要望
	全体の発表に加えて、小グループでの意見交換の場があるとよいと思います。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向　ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重　自尊感情　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

⑭拉致被害者等⑮その他（性的指向・性同一性など）⑯人権一般（生命尊重、自尊感情、人とのかかわり方）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　伊那市立伊那中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ⑪インターネット ⑬性的指向 ⑭人権一般	①アンケート調査に基づいての身のまわりの差別について考える。 ②道徳資料を使いながら、身近な差別（言葉遣いによる差別）について考えた。	①ちくちく言葉・ふわふわ言葉 ②あけぼの	①前期は学級の集団づくりに関わって、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを高める学習を行った。　②後期は言葉づかいに焦点を当てて、身近な差別について考えることができた。　③ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・SNSに関しては、全校で行った情報モラル教室に関わって学習できた。　④性的指向については、性教育講演会に関わって学習できた。
	2	⑤同和問題 ⑪インターネット ⑬性的指向 ⑭人権一般	①同和問題について、差別の起こりから明治時代までの差別歴史を知る。 ②道徳資料やあけぼの資料を使いながら、身近な差別について考え直す。	①あけぼの＜小学校高学年版＞ ②DVD「ドキュメンタリー結婚」	①道徳の時間で、身近な差別について考えることができた。今後も、1年を通して考える機会を設けたい。 ②視聴覚教材を有効に使いながら、同和問題を学習することができた。　③ｲﾝﾀｰﾈｯﾄSNSに関しては、全校で行った情報モラル教室に関わって学習した。　④性的指向については、性教育講演会に関わって講師の先生の講演を基に学習することができた。
	3	④障害者 ⑥アイヌの人々 ⑧ハンセン病患者 ⑪インターネット ⑬性的指向、学校間差別	①障害者について視聴覚教材や養護学校との交流を通して考える。 ・アイヌの人々やハンセン病について資料をもとに正しく理解する。 ②高校差別や学歴格差について考える機会をとる。	①あけぼの ②えんじ色のネクタイ	①視聴覚教材を有効に活用しながら、ハンセン病問題を学習できた。　②資料を効果的に使用し、アイヌの人々について学習したが、資料が少なかったため、多くの資料を用意し使っていけると良い。　③進路学習に合わせて、高校差別について学習することができた。

生徒	研修講演	テーマ	合唱劇「カネト」物語（伊那市人権フェスティバル）		○合唱劇を通して、アイヌの人々のことについて知ることができた。 ○隣の学校の人権啓発への取り組みを知ることができた。
		講師名(報償額)	阿智第二小事務局 渡邉美津子先生	106,000円	
		連絡方法	〒395-0302 阿智村伍和4500	℡0265-43-2505	
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　１～３年	回数　1　回	QU調査や学校生活アンケート（いじめ調査）は、全クラスで行い、生徒の実態をつかみ、学級経営に役立てることができた。
			学校生活アンケート　実施学年　１～３年	回数　2　回	
	生徒会の取組		校長、生徒会役員、そして全校生徒を交えて「いじめ」に関するパネルディスカッションを行った。		

保護者	研修講演	テーマ	合唱劇「カネト」物語（伊那市人権フェスティバル）		人権教育の授業参観や、人権フェスティバルへの参加は、保護者と共に人権を考える機会となったため、今後も継続していきたい。
		講師名(報償額)	阿智第二小事務局 渡邉美津子先生	106,000円	
		連絡方法	〒395-0302 阿智村伍和4500	℡0265-43-2505	
	家庭への発信・連携		・１２月に全学級で人権学習の授業を公開した（授業参観）。 ・人権同和教育強調月間中の取り組みや様子を学級、学年通信などで各家庭に発信した。		

職員	研修講演	テーマ	合唱劇「カネト」物語（伊那市人権フェスティバル）		もっと人権教育に関する校外の研修や講演会への参加を働きかけるべきであった。
		講師名(報償額)	阿智第二小事務局 渡邉美津子先生	106,000円	
		連絡方法	〒395-0302 阿智村伍和4500	℡0265-43-2505	
	校内組織の取組				

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	教育センターでの研修会や研究授業参加など、本校で実践するのに大変参考になった。
	次年度に向けての要望
	実践事例集や県の指導資料集など、各校の実践を具体的に知ることができ、参考になった。来年度も使わせていただきたい。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々

⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　東部中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫や改善したところ
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども ⑭一般差別	前後期とも第１時に実施し、いじめやSNSの利用の仕方について考えた。また、前後期とも各クラス独自の資料をもとに一般差別について学習した。	①一秒の言葉 ②私たちの権利 ③ちがいのちがい ④あけぼの ⑤自作資料	①各クラスで独自の実践を行った。 ②あけぼのには様々な差別の事例があり,参考になった。 ③各クラスともワークショップ形式の学習を取り入れたことにより、主体的に取り組むことができた。
	2	②子ども ⑤部落差別	１年同様アンケートを実施した。また、あけぼのを中心に、部落差別の起こりから現在までの様子を学習した。	①あけぼの ②ドキュメンタリー結婚（DVD）	長野県に実際にあったドキュメンタリーをDVDで視聴することで、部落差別を身近に感じることには繋がったと思われる。しかし、学区内に同和地区があることを知っている生徒は少なく、そこまで踏み込んだ学習はできなかった。
	3	②子ども ③その他	生活アンケートに加え、前期は学年人権宣言を作成した。後期は学年で「翼をください」を視聴して高校差別について考え、各クラスでも実態に合わせた学習をした。	①世界人権宣言 ②他中学、他学年の人権宣言 ③翼をください ④次男の受験 他	①学年人権宣言では各クラスで案文を話し合い、学年運営委員会で討議して学年集会で採択した。 ②集会では自発的な意見が多く出され、人権意識が高まった。２年後半に起きたような生活上のトラブルの減少に繋がったと思われる。

生徒	研修講演	テーマ	ネット社会の危険性		ネット社会に潜む様々な危険性やモラルについて。特にライン等のSNSの利用の仕方についての学習になった。具体的な事例を通しての話だったので，生徒にとって理解しやすかった。
		講師等	犯罪対策アドバイザー　南澤信之先生	30,000円	
		連絡方法	県警察本部生活環境課　TEL026-233-0110		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　全学年	回数　2　回	例年通り人権月間のスタート時にアンケートを実施し。教師の側では実態把握に役立ち、生徒にとっては、相談･訴えの機会になっている。
			前後期生活アンケート2回実施		
	生徒会の取組		桜プロジェクト、祖父母に感謝する会、あいさつ運動、学年人権宣言（学年運営委員会）		
保護者	研修講演	テーマ	40年にも及んだ異文化論		生徒への指導も大切であるが、保護者への啓発や学習会などを開き、保護者の理解を深めていく必要がある。
		講師等	ブロードキャスター　ピーター・バラカン	200,000円	
		連絡方法	〒158-0081 東京都世田谷区深沢1-31-1 プスカ・ヴィジョンズ有限会社　TEL03-3705-2852		
	家庭への発信・連携		学級通信、学年通信、学校だより等で「桜プロジェクト」や人権学習の内容に関わる情報を発信した。		
職員	研修講演	テーマ	発達障害を抱えた生徒への支援		夏休みの職員研修として、特別支援の生徒の理解に繋がる研修を実施し、教科指導や生徒指導にとても参考になる内容で有意義であった。
		講師等	塩尻中学校教諭　北原佳隆先生	0円	
		連絡方法	〒399-0713 長野県塩尻市大小屋６１　TEL0263-51-1617		
	校内組織の取り組み		道徳教育全校授業研究会		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			学校人権教育ファシリテーター研修会等に係が参加し、情報収集したものを各学年会に提示、前後期の人権学習強調月間の授業内容計画に役立てた。		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28),第２会研修会(8/6),第３回研究授業(10/27),第4回委員会(2/19)の意見,感想
	○他校の実践や研究授業でその学校・学級の生徒の様子を知る上で、良い情報交換の場となっている。 ○開催期日や日程・内容等、本年度のような形でよいかと思う。
	次年度に向けての要望
	○人権学習に役立つ資料や講師の紹介をしていただき、ありがたい。 ○学区内には同和地区、伊那飛行場など地域教材となり得るものが在るが、なかなかそこまでできない。ご支援いただけるとありがたい。

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　東部中学校

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　西箕輪中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	③高齢者 ④障害者 ⑭人権一般	①福祉施設（高齢者、障がい者）への訪問交流 ②自尊感情を高め、他者を思いやる心の伸長	①社施設のパンフレット ②あけぼの ③わたしの築く道しるべ	①福祉交流では、学校生活で積極的なコミュニケーションが得意ではないと思われる生徒も、にこやかに自分から話しかけている姿が見ら、臨機応変な対応が出来ていた。 ②福祉交流と並行して行った「ちがいを知る」授業では、様々な道徳資料を用いて、生徒の実態に合った授業が展開でき、福祉交流へと学習活動をつなげることができた。
	2	⑤同和問題 ⑭人権一般	①部落差別の起こりや歴史的背景を理解する授業 ②偏見や世間体にとらわれる心に気づき、自分自身で事実を確かめる大切さに気づく授業	①自作ワークシート ②あけぼの	根拠のない迷信を信じたり、偏見をもったりする姿勢が、差別につながっていくことを学んだり、部落差別に憤りを感じながらも、差別に負けずに前向きに生きる人の姿に共感したりすることができた。
	3	④障害者 ⑤同和問題 ⑭人権一般	①伊那養護学校との交流 ②「あけぼの」を活用した授業 ③高校差別、進路	①自作ワークシート ②あけぼの	「あけぼの」を活用し、「水平社宣言」について学習し、解放運動について理解を深めることができた。また、高校差別や進路の問題について考えた。

生徒	研修講演	テーマ	みんなちがってみんないいー思いやりと自信を大切にー		○「みんなちがってみんないい」自己肯定感、自尊感情、思いやりの大切さ。 ○「世界は一冊の本」という詩について考えてほしいこと。 ○「世界の果ての通学路」のDVDをみせて、普通に学校に行けるということのありがたさ。
		講師名(報償額)	元松川町長 鋤柄郁夫さん	20,000円	
		連絡方法	〒399-3303松川町元大島1435-4　℡0265-36-4184		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　全学年	回数　2　回	いじめアンケート全学年（6月、10月） 教育相談（7月、12月）
			他　実施学年　全学年	回数　2　回	
	生徒会の取組		○「西箕輪中学校人権宣言」を取り入れた日常活動 ○「なぜいじめはなくならないのだろうか？」をテーマとした、年5回の全校縦割り討論会を実施		

保護者	研修講演	テーマ	心の通うコミュニケーション ～信頼しあえる親子になりたいから～		親子、友達で心を通わせるということについて、ワークショップを通して体感した内容でした。
		講師名(報償額)	親業訓練インストラクター小椋佐代里さん	40,000円	
		連絡方法	〒399-4511上伊那郡南箕輪村4047-1　℡090-2664-8061		
	家庭への発信・連携		○PTA主催小中合同講演会への参加の呼びかけ。 ○鋤柄郁夫先生の講演会への参加の呼びかけ。		

職員	研修講演	テーマ	ネットワーク社会に生きる子どもたちの指導について		○西箕輪小学校と合同で夏休み職員研修という形態で開催。 ○ＳＮＳを中心としたネットツールの仕組みや危険性を学ぶ。 ○リアルタイムに多数の生徒が情報を共有することが今まで以上に人権を踏みにじる可能性について考えた。
		講師名(報償額)	西箕輪中学校　有賀大教諭	０円	
		連絡方法	〒399-4501伊那市西箕輪6569-1　℡0265-72-6421		
	校内組織の取組		○各学年に人権同和教育係をおき、学年ごとに人権同和教育の年間計画、人権同和旬間の計画を立てている。 ○人権同和教育係は、必要に応じ情報教育係などと連携をとり活動している		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○福祉施設との交流（年1回） ○保育園との交流（年2回） ○伊那養護学校の交流（年3回）

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	他校の取り組みを聞くことができ、自校の授業展開に活かせられるのでとても役立ちました。
	次年度に向けての要望
	公開授業では、同和地区のある学校の同和教育問題を扱った授業を参観してみたいと思いました。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　春富中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	前期 ⑭人権一 後期 ④障がい者	前期：春富中学校人権宣言について考える。 後期：視覚・聴覚障がいの疑似体験、車イス体験を通して障がいについて考える。	前期：春富中人権宣言 後期：絵本(ちがいのちがい)	前期：学級の人権宣言を考え、1年を通して意識することができた。 後期：障がいの疑似体験を通して、本当の優しさや思いやりについて考えを深めることができた。
	2	前期 ⑭人権一般 後期 ⑤同和問題	前期：ロールプレイを通した人間関係作り 後期：「あけぼの」や映像を基に同和問題の歴史を学ぶ。	映像 『人間の詩』	前期：ロールプレイを通して、他者との関わり方を振り返り、これからの人間関係のよりよい築き方について考えることができた。 後期：あけぼのや視聴覚教材を通して、当事者の心情に触れながら学びを深めた。
	3	前期 ⑤同和問題 後期 ④人権一般	前期：差別によって結婚できた人たちとできなかった人との違いを考え、正しい認識と周囲の理解を考える 後期：高校差別を考える	前期：ドキュメンタリー結婚差別に負けて 後期：翼を下さい	前期：正しい認識ができることで、差別を乗り越えられることができることを学んだ。 後期：高校進学に向けて進路選択を考えることができた。

生徒	研修講演	テーマ	『当たり前』は奇跡の言葉		○命の日の講演会を行い、春富で大切に歌われている『生きる』のきっかけとなった生徒さんのお話が聞けた。 ○本校在学中に亡くなられた生徒の保護者の方の講演ということで、今の自分を見返す機会となった。
		講師名(報償額)	先輩の母親 樋口秀子さん	20,000円	
		連絡方法	〒399-4432　伊那市東春近２４０８　春富中学校 ℡0265-72-5245		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　1	回数　2　回	いじめに関するアンケート（２回）
			他　実施学年　2	回数　2　回	
	生徒会の取組		○地域の方々に感謝する会の運営 ○お年寄りの方との交流（暑中見舞い・年賀状等）		
保護者	研修講演	テーマ	『当たり前』は奇跡の言葉		○命の日の講演会を行い、命の大切さや思いやりについて子どもとともに再確認する機会となった。 ○保護者と子どもが命の大切さについてともに考え、これからの生き方について考えることができた。
		講師名(報償額)	先輩の母親 樋口秀子さん	20,000円	
		連絡方法	〒399-4432　伊那市東春近２４０８　春富中学校 ℡0265-72-5245		
	家庭への発信・連携		学校だより、学年だより等により、学校で行われている人権教育の内容等について発信		
職員	研修講演	テーマ	コーチングについて		生徒や選手の認め方・声がけの仕方など具体的な場面を設定しながら、生徒の自己肯定感を高め、人権を尊重する関わり方について研修を行った。
		講師名(報償額)	春富中学校 城倉淳教諭	0円	
		連絡方法	〒399-4432　伊那市東春近２４０８　春富中学校 ℡0265-72-5245		
	校内組織の取組		○人権教育の全体計画、年間計画の検討、学校計画の作成、実践記録の収集、まとめ ○職場研修の企画、運営（コーチング、ＱＵなど）		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			○学校だよりで人権に関する講演会の内容や生徒の感想を載せることで、保護者の方々に情報を発信することができた。 ○地域に感謝する会では、地域の高齢者を招き学習発表会を行うことで、地域の方々との交流を図ることができた。		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	本年度も様々な研修会を通して学ばせていただきました。特に研究授業では、全校で友との関わりを振り返ることを通して、相手のことを思いやりながら考えを伝え合うことで、他者意識で考えることの大切さや良さを感じ合う姿がありました。日々の生活の中で磨かれる人権感覚の大切さを改めて感じました。
	次年度に向けての要望
	特にありません。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　伊那市立高遠中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	②子ども	友達どうしのトラブルからいじめへ	①自作資料 ②自作学習シート	いじめとけんかの違いを理解することができた。友達どうしの問題を改めて見つめ直すことができた。
	2	⑤同和問題	①被差別部落のおこりと歴史 ②被差別部落に対する差別	①あけぼの 江戸時代以前の差別 ②十年後の同級会	あけぼので被差別部落の起こりと歴史を学び、加えてロールプレイで差別に関わるいろいろな立場を演じてみて、体験的に立場の違いからくる気持ちを受け止めた。やってみての感想交流が出来ると更に深まると思う。
	3	⑭人権一般	価値観の違いを認め合おう	自作学習シート	①生徒にとって関心の高い題材選択を題材にしたことで、友達の選択基準の優先事項が自分と違うことを実感を持って受け止められた。 ②生徒の実態によって、授業の流れを変えることが必要である

生徒	研修講演	テーマ	いじめについて		小学校時代にいじめや体罰、また病気を体験された講師に、その体験談を語っていただいた。不当ないじめや指導と称した体罰でどのように苦しめられるか、理解してもらえない悲しさや怒りを多くの生徒が感じ取り、いじめに対する見解をまた新たにした。
		講師名(報償額)	人権教育派遣事業講師　山城峻一さん	0円	
		連絡方法	県教委事務局心の支援課人権支援係　℡026-235-7450		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　１～３年	回数　2　回	
			他　実施学年　１～３年	回数　3　回	
	生徒会の取組		観桜期ボランティア活動 特別養護老人施設「さくらの里」ボランティア活動 アルミ缶回収による車イスを送る活動		
保護者	研修講演	テーマ	夢が実現する心と身体の磨き方		当日は、生徒も共に講演を聞いた。実演やテレビ映像などを交えて、宝塚歌劇団での厳しい規則や上下関係の中で、何事にも「感謝」の気持ちを持って、舞台に立つという夢に向かってまい進した、講師の半生をお聞きして、向上心を刺激された。
		講師名(報償額)	元宝塚歌劇団娘役 堀内明日香さん	100,000円	
		連絡方法	〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-7-5　本町ハイエストビル2F 株式会社 CONY JAPAN　℡06-6203-0688		
	家庭への発信・連携		PTA教養文化部主催で、通知配布、当日に向けての準備と当日運営を行った。		
職員	研修講演	テーマ	教育コーチング　QU調査の生かし方		生徒理解のために、数年前から学習している。「がんばれ」と言われ続けることが頑張っていてもどうにもならない生徒にとってどんなに苦痛かを、「荷物をふやす」実例を交えてわかりやすく伝えていただき、「傾聴」の重要性を再認識させていただいた。
		講師名(報償額)	赤穂中学校　内藤睦夫教諭	0円	
		連絡方法	〒399-4117駒ヶ根市赤穂4704　℡0265-83-3161		
	校内組織の取組		各種校外研修・人権同和教育大会への参加		
地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等			○観桜期ボランティア活動 ○特別養護老人施設「さくらの里」ボランティア活動 ○アルミ缶回収による車イスを送る活動		

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	○小グループでの各校の実践報告や情報交換は、年間の計画具体的に立てていく時期にあって、大いに参考になった。 ○研究授業では、純真な小学生たちの姿に触れて、心洗われるようだった。中学生になって、成長段階で気持ちが揺れ動いても揺らがない真心の部分を育てていただいていると感じた。
	次年度に向けての要望
	○同和教育のヒントになるような取り組みの実践例を、具体的に見合えると、私たちの勉強にもなり、自校でも取り組んでみようという意欲にもなると思う。 ○係以外の職員の意識の向上を目指して、「仰望の日」等の講演会を人権サイドのものにしてもらえるとよい。昨年長野県で開催された、「全人同」の大会の、斉藤洋一先生のお話や、神戸隣保館のお話をしてくださった、中尾由喜雄さんのご講演内容がよかったです。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々

⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　長谷中学校

	学年	人権分野	取組内容	扱った資料等	成果と課題/工夫点や改善点
学年ごとの取り組み状況	1	③高齢者 ④障害者 ⑭人権一般	身近に起きた事例をもとに、人権一般について	自作資料	人ごとのように感じていたいじめや嫌がらせを、実際に起きた問題を真剣に考えたことで、人権に対する意識が高まった。
	2	③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑧ハンセン病患者 ⑭人権一般	①ハンセン病とは ②ハンセン病に関する歴史 （隔離政策を中心に） ③正しい知識を持つことと、これからの自らの生活の中で心がけたいこと。	①あけぼの ②ハンセン病の向こう側（厚生労働省リーフレット）	①テレビ等での報道やレポートなど、生の声を聞ける機会があるとよい。 ②患者を取り巻く理不尽なできごとについてふれることにより、人々の差別や偏見の実態がつかめた。 自らの生活を振り返り、心のどこかで差別や偏見をしていることに気づき、今後の学校生活に生かそうとする姿が見られた。
	3	③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑧ハンセン病患者	①ふれあい訪問、事前事後指導 ②伊那養護学校との交流、事前事後指導 ③同和問題の歴史 ④ハンセン病とは	①あけぼの ②ハンセン病について考えてみませんか！	あけぼのを使って、部落差別の歴史について理解するまでしか扱えず、身近な問題として考えさせるまでには至らなかった。

生徒	研修講演	テーマ	情報モラル講演会		生徒の感想より ○インターネットは、とても便利なものだけれど、使い方を間違えると、とても大変で怖いと思った。 ○この先、スマホを持つと思うので使い方を間違えないようにしたい。 ○悪意を持った投稿をしても、何も感じない人もいることに驚いた。
		講師名（報償額）	ＮＰＯ法人マザーポートＩＴながの 理事長　中島直美	15,000円 交通費14,000円	
		連絡方法	〒380-0824　長野県長野市南石堂町1261-6 明光ビル２Ｆ　℡026-224-4433		
	アンケート等		ＱＵ　実施学年　全学年	回数　2　回	11月の人権月間中に学校生活に関わるアンケートを実施
			他　実施学年　全学年	回数　1　回	
	生徒会の取組		○あいさつの意識を高める週間 ○地域全戸へパンジーの苗の配付 ○地域高齢者施設へのふれあい訪問（年３回） ○伊那養護学校との交流 ○中国訪日旅行団との交流（異文化理解） ○地区別花壇作り		

保護者	研修講演	テーマ	情報モラル講演会		保護者の感想より ○内容的には必要だったと思いますが、今の長谷の実態（親子とも）からは、やや難しかったかなと思います。 職員より ○情報モラルについて、来年度も扱えるようにしたい
		講師名（報償額）	ＮＰＯ法人マザーポートＩＴながの 理事長　中島直美	15,000円 交通費14,000円	
		連絡方法	〒380-0824　長野県長野市南石堂町1261-6 明光ビル２Ｆ　℡026-224-4433		
	家庭への発信・連携		○学級通信（各学年担任） ○講演会等の案内配付、参加呼びかけ ○学校便り「ひとつごころに」（教頭先生） ○ＰＴＡ各部との連携		

職員	研修講演	テーマ	資質向上研修会　「花の教え」		「唯聴自然声」子どもに寄り添った教師のあるべき姿、子どもの心理を無視しての教育はありえない。花それぞれの散り方のちがいに重ねた奥深い生き方のお話に、心静かになると同時に教育への熱い思いを感じました。
		講師名（報償額）	伊那市教育委員長　松田泰俊先生	0円	
		連絡方法	〒396-0402 伊那市長谷溝口869　℡0265-98-2850		
	校内組織の取組		○情報モラル講演会　○Q-Uの考察に関する職員研修会 ○薬物乱用防止教育授業、性教育授業等、外部の講師をお招きした授業に生徒と共に職員も参加		

地域組織・他の学校との交流・連携 地域への発信等	○伊那養護学校との交流会（10月）　○保育園訪問（２学年授業） ○地区花壇作りと管理　○地域全戸へパンジーの苗を配付（4月） ○サンハート美和（地域高齢者施設）訪問（年3回） ○地域人権擁護委員による人権作文の読み聞かせ（11月） ○地域全戸へ学校便り「ひとつごころに」配付（通年）　○学校ホームページの運営

人権同和教育研究推進委員会の反省要望	第１回委員会(5/28)、第２回研修会(8/6)、第３回研究授業(10/27)、第４回委員会(2/19)の意見、感想
	他校の実践内容から学ばせていただきました。
	次年度に向けての要望

平成２７年度　伊那市学校人権同和教育実践と反省・課題　　中学校名　　長谷中学校

[illegible]	特にありません。

【＊１】分野　下記から選んで記入　　記入例「④障害者」

①女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）②子ども（いじめ、子どもの権利等）③高齢者④障害者⑤同和問題⑥アイヌの人々
⑦外国人⑧HIV、ﾊﾝｾﾝ病患者等⑨刑を終えて出所した人⑩犯罪被害者等⑪ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・携帯等による人権侵害
⑫拉致被害者等⑬その他（性的指向、ﾎｰﾑﾚｽ等含む）⑭人権一般（生命尊重、自尊感情、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力等）